

令和5年度 白鳥小学校 学校経営方針

【教育理念】 自分も周りも 大切に する (子どもも保護者も職員も)	【学校の教育目標】 ◎本物の主体性 「生き生きと行動する子」 (自主性、社会性、創造性)	【子どもの様子】 ○教育活動を楽しみながら展開できる児童が増えてきた。 ●人間関係等が原因で、楽しさを感じる度合いに個人差がある。
---	--	--

【めざす児童像】「自律の基盤づくり」 ◎「自分もみんなも楽しい生活」 ア：参加する楽しさ、協力する楽しさ、貢献する楽しさ イ：熱中する楽しさ、努力する楽しさ、達成する楽しさ ウ：一人でする楽しさ、みんなでする楽しさ	【指導の構え】 ◎児童の学習権を保障する。 「どうしたの？」 「どうするといいと思うの？」 「私にできることは何？」
--	---

【大切にしている児童の意識】

- 自己存在感…「ありのままの自分を受け入れる」
- 自己肯定感…「自分の言動に自信をもつ」
- 自己有用感…「周りに役立つ自分に気付く」

を大切にしつつ、常に **当事者意識** をもって活動できるようにする。

【育てる内容】 ◎誠実さ (自主性) ◎思いやり (社会性) ◎工夫表現 (創造性)	【指導の重点】 ・当事者意識で「願い」「思考」「判断」「実行」「検証」する。 ・楽しさの質と幅を「参加」「協力」「貢献」を視点にして広げる。 ・児童一人一人の特性やニーズに応じた個別支援を充実する。
--	---

【活動の段階と活動内容】

【第1ステージ】 ・自分、仲間、先生との生活を楽しみ、所属感に浸る。	【第2ステージ】 ・願い→思考→決定→実践→検証を経験し達成感に浸る。	【第3ステージ】 ・試行錯誤→対話→成功→自覚を経験し充実感に浸る。	【第4ステージ】 ・自分と仲間の成長を自覚し、感謝と決意をもつ。
--	---	--	--

生徒指導

【重点】 自尊感情を高め、当事者意識をもって自己指導能力を身に付ける。

【視点】 参加 ↓ 協力 ↓ 貢献	仲間づくり部 【重点】 集団の一員として、当事者意識をもって集団生活をより楽しくしようと表現できるようにする。 ○学級活動 ◎児童会・委員会活動 ◎学校行事 ○クラブ活動	学びづくり部 【重点】 「学習」ねばり強くやりぬき、みんなと助け合いながら、よく考えてつくり出せるようにする。 ○教科教育 ◎総合的な学習の時間 ○図書館教育 ◎研究推進	【スタンス】 ①一人を全職員で支援。 ②児童の思い、保護者の願い、職員の考えを同じ方向に。 ③集団を利用。
	自分づくり部 【重点】 創造的な活動を支える安心・安全な生活づくりに誠実に取り組めるようにする。〔仲間づくり部と学びづくり部の下支え〕 ○通学指導 ○健康指導 ○給食指導 ◎清掃指導		

特別支援教育

【重点】 人と関わる中で自分を見つめ、相手を受け入れて、共に学ぼうとするようにする。
 ◎特別な配慮を要する児童への個別支援 ◎お互いを理解・尊重し合えるための集団指導

地域・保護者との活動

【目的】 学校は「地域とともにある学校づくり」、地域は「学校を核とした地域づくり」
 ・学校運営協議会を核としたネットワークの確立 ・保護者も職員も参加したくなるPTA活動の工夫

PTA活動 ← 白鳥公民館 ← **学校運営協議会** → 郡上市図書館 → 各種地域団体

